



食品産業文化振興会



1月定例セミナーのご案内

テーマ

検査機関からみた今後の検査体制のあり方

— 検査機関の社会的責務、業務のあり方とは？ —

わが国の食品安全は、過去、戦後の食糧不足など混乱した状況の中で食中毒の発生等を通じ、衛生規制の強化や関連事業者の自主的な衛生管理体制の構築のもとに築かれてきました。食品安全に関する過去の主要な事件の歴史的推移をみると、衛生規制の強化や法改正等に影響した事故や事件が挙げられます。

食品安全の確保の重要性から、その規格基準の設定や検査強化が図られる過程で分析技術の進歩などを踏まえ、検出レベルもより微量に変化し（ppm→ppb→ppt→ppq）、より精度の高い試験法が開発されました。この結果、試験結果の正確度を保証するため、検査機関の信頼性に影響するGLPの導入やISO17025の認定など、試験検査機関として社会的な責務を果たす努力が求められています。

今回のセミナーは放射能検査も踏まえ、検査機関の社会的な責務や業務のあり方に関してご講演いただきます。

講演 15:00~16:30

テーマ：「検査機関からみた今後の検査体制のあり方」

- ① 検査機関(登録検査機関)の責務から展望する検査体制のあり方について
- ② 試験検査サービス商品を顧客に提供する検査機関とは
- ③ 試験検査サービスに影響する顧客ニーズの変化について
- ④ 試験検査機関のグローバル化に関する動きについて
- ⑤ 試験検査機関に求められる経営姿勢と信頼できる商品(試験結果)の提供

講師 財団法人 日本冷凍食品検査協会 顧問 **東島弘明 氏**

- 日時：平成24年1月16日(月) 15時~16時30分(受付開始14時30分)
- 会場：東京八重洲ホール・B2(東京都中央区) <<裏面地図>>
- ご参加：食品産業文化振興会会員 無料
一般受講希望者 1万円 (裏面申込書)

日本食糧新聞社・食品産業文化振興会事務局

電話 03-3432-4664 FAX 03-3459-4654

〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第1南桜ビル

セミナー情報：<http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>

食品産業文化振興会 セミナー（1月16日）申込書

FAX で 03－3459－4654 までお申し込み下さい。

◇受講申込後、請求書を発行いたします。

◇ご希望に○をお付けください。（ 請求書希望 ・ 当日現金払希望 ）

◇当日はお名刺をお持ち下さい。（お名刺は、受付確認、今後の弊社にかかわる
事業案内以外には使用いたしません。）

平成 年 月 日

会社名			
住所	〒 -		
電話：	FAX：		
	お役職	お名前	

会場案内

【会場】東京八重洲ホール

東京都中央区日本橋3-4-13

TEL: 03-3201-3631

<http://yaesuhall.co.jp/accessmap/>

○JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩3分

○東京メトロ

銀座線「日本橋駅」・「京橋駅」徒歩3分

東西線「日本橋駅」より徒歩7分

ほか

